

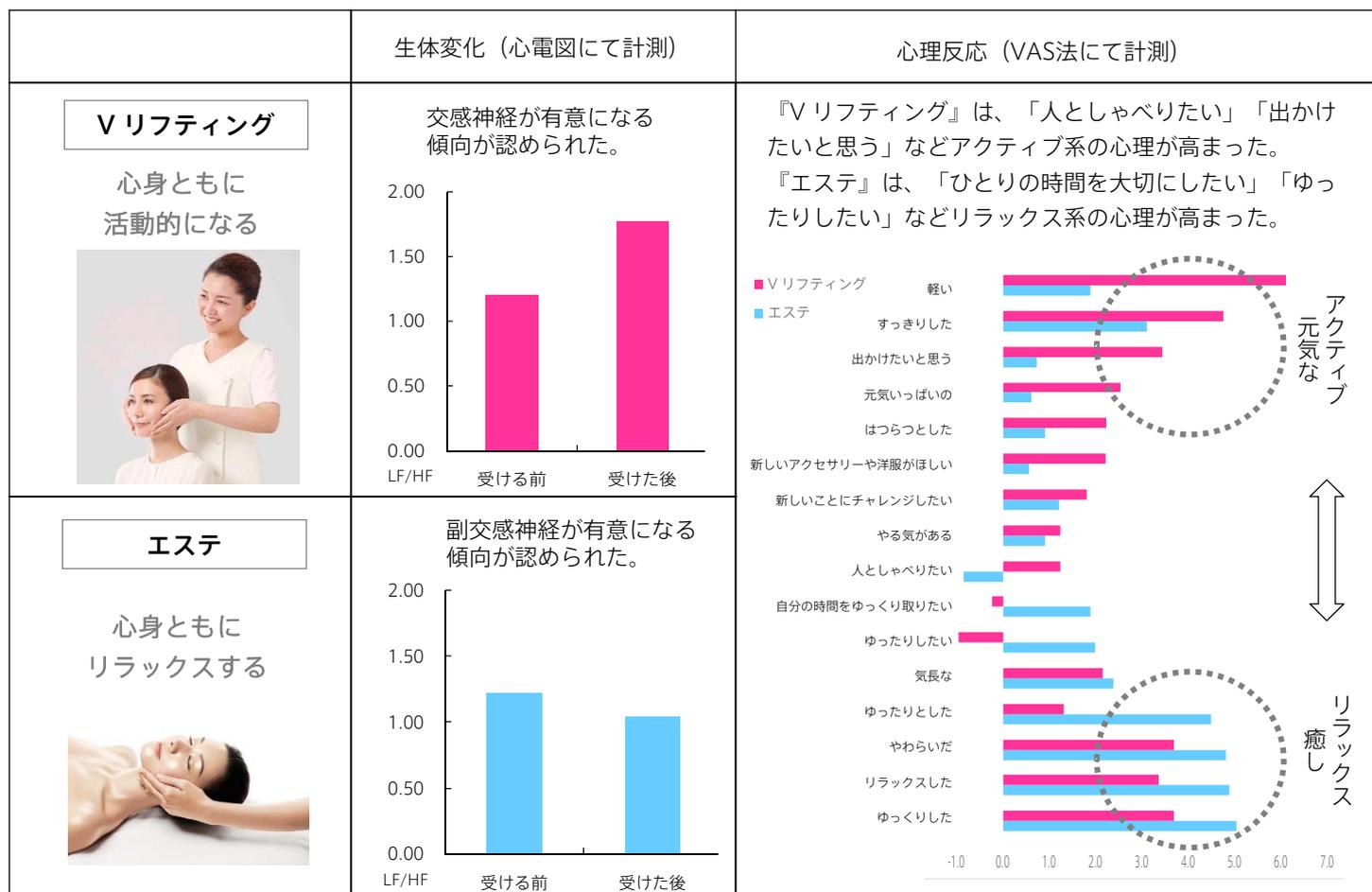
心身ともに活動的になる『V リフティング※』 VS 心身ともにリラックスする『エステ』 受けるお手入れの違いで、生体と心理反応が異なることを解明

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：鈴木弘樹）は、『V リフティング』と『エステ』を受けた後の、生体と心理反応を調べたところ、どちらもプロの手によるお手入れにもかかわらず、『V リフティング』は、交感神経が有意な傾向を示し、アクティブ系の感情が高まるなど、心身ともに活動的になり、『エステ』とは相反する反応が現われることが分かりました。

『エステ』は、フェイシャルとデコルテ部分をベッドに横になって受ける、充実した本格お手入れで、ストレスが解消され、リラックスすることが分かっています。今回の調査においても、『エステ』後は、副交感神経が有意になる傾向を示し、「ひとりの時間を大切にしたい」「ゆったりしたい」などの心理が高まり、心身ともにリラックスすることを確認しました。これに対し、顔の下半分のお手入れを、椅子に座って受ける『V リフティング』は、交感神経が有意になる傾向を示し、「人としゃべりたい」「出かけたいと思う」などアクティブな心理が高まるなど、心身ともに活動的になり、『エステ』とは相反する反応が現われました。これは、交感神経が有意になり、心身にポジティブな反応をもたらすといわれているメークと類似した反応であると考えられます。

以上のことから、『V リフティング』は、活動のスイッチを「オン」にする、お出かけ前のお手入れとしてもご提供できる、『エステ』とは異なる美容法として活用できると考えます。

※下から上に引き上げる手法



【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

【試験方法】

女性被験者4名（40代）について、「Vリフティング」と「エステ」を、2日間にわけて受けてもらった。
なお、同一の被験者は、両日同一の時間帯に受けるようにした。

試験日：2014年6月26日～6月27日

計測方法：心電図計測とVAS法にて評価した。

■VAS（Visual Analog Scale）心理状態の視覚的評価スケール

VAS:被験者に、0cmを「全くない」状態、10cmを「これ以上ないレベル」の状態として、現在の気持ちが10cmの直線上のどの位置にあるかを示してもらう評価法。

■心電図計測方法

測定は、Vトリートメント日は座位にて計測し、フルエステ日は仰臥位にて計測した。

R - R 間隔を周波数解析し、2秒ごとに出力した。

高周波領域(HF) 0.15～0.4 Hz を副交感神経活動の指標とし、低周波領域(LF) 0.04～0.15 Hz を交感神経および副交感神経活動の指標として分類した。

解析は、両日ともに、受ける前後における10分安静時の、後半5 - 10分間の平均値を用いてLF / HF を算出し、これを交感神経活動の指標とした。